



【平成30年10月号】

清水小学校

校長 高井正樹

児童会選挙

子どもたちの自主的な活動、児童会の後期役員を決める選挙が行われました。立会演説会では、挨拶運動や廊下歩行、異学年の交流など、立候補者がそれぞれの視点で公約を訴えました。投票の結果、以下の子どもたちが選出されました。清水小学校が、さらに素晴らしい学校になるよう、頑張って活動してほしいです。

- ◇ 会長 砂田 行蔵さん
- ◇ 副会長 玉澤 陸華さん、森井 涼介さん
- ◇ 書記 鵜田 愛莉さん、松井 汰月さん



地域公開参観日



先月は、地域公開参観日がありました。保護者の皆さんをはじめ、おじいちゃんやおばあちゃん、地域の皆さんにも足を運んでいただきました。各教室などでは、子どもたちが楽しく活動する姿、真剣に学ぶ姿がたくさん見られました。お忙しい中、ご来校いただき、大変ありがとうございました。

学校では、10月13日（土）の学習発表会に向け、猛練習の毎日です。今度は、ステージで輝く子どもたちの姿をご覧ください！

図書館体験

清水幼稚園のかわいらしい子どもたちが、学校の図書館を訪れました。子どもたちは、たくさん並んでいる本の中から、思い思いに興味のある本を選んでいました。絵本だけではなく、自動車や昆虫、迷路などの本を見つけて借りていきました。これは、清水町の教育の特色である幼保・小連携事業の一環で、子どもたちの小学校入学への抵抗感を少しでも和らげるための取組の一つです。年長の子どもたちは、本を借りるだけではなく、1年生が使用するトイレの見学もしていきました。



守り神復活



カラスの悪戯により、屋上から落下して無残な姿となってしまった、清水小学校の守り神“ペケレッタ”。校長が一生懸命復元作業に取り組みました。その結果、写真のように見事復活！を果たしました。しかし、よくよく見ると右手がありません……。残念ながら部品が足りず、ここまでしか復元できませんでした。復元したペケレッタは、高学年玄関にあるトロフィーなどを飾っている棚に置くことにしました。これからも清水小学校の子どもたちを見守っていてくれると思いますので、ご来校の際にぜひ、その姿をご覧ください。

御影小学校

校長 真下 正 則

改めて、災害への備えが必要！



避難訓練（玄関前に全校児童が集合）

9月6日（木）3時過ぎに北海道胆振東部地震が発生し、その直後に北海道全域が「大停電」となりました。清水・御影も大きな影響を受け、学校も2日間臨時休校となりました。

保護者の皆様には、大変ご心配ご迷惑をおかけしましたが、大きな混乱もなく対応していただきました。心より感謝申し上げます。

ところで、地震の1週間前に本校では地震を想定した避難訓練を行ったばかりでしたが、改めて様々な災害への備えをしなければならないと感じたところがあります。子どもたちも電気の大切さを、身をもって実感したようです。

季節は「秋」、より充実した活動を！

さて、朝晩の気温がかなり低くなってきましたが、9月が終了すると学校もいよいよ後期となります。地震の影響で心配された6年生の修学旅行も若干の変更はあったものの、予定の期日で実施することができました。

今後は、5年生の宿泊学習、11月10日（土）実施の学習発表会に向けての取組が始まります。「芸術の秋」、「読書の秋」と言いますが、先日の「移動図書」では、多くの児童がたくさん本を借りている姿を目にしました。

今年は、機会ある毎に『積極的に読書を…』と子どもたちに話をさせてもらっていますが、ご家族一緒にいかがでしょうか。



児童会「全校3つの『あ』週間」

3つの「あ」も保小連携で！



【園児による作品鑑賞】

清水町では、保小連携が積極的に進められています。児童が保育所を訪問したり園児が小学校に来て交流したりする機会もたくさんあります。

その際に、3つの「あ」についても互いに意識し合って実践することができています。



【玄関に揃えられた外靴】

清水中学校

清水中学校吹奏楽部は、9月16日（日）に定期演奏会を、そして30日（日）には清水中学校文化祭にて、これまでの練習の成果を披露し、3年生にとっては最後の演奏を終えた。

吹奏楽部は本校で唯一の文化部である。他の運動部はシーズンや年間を通して、様々な大会があり、結果如何によって表彰されたり、賞状やトロフィー・メダルをもらったりすることもある。しかし、吹奏楽部は夏にコンクールがある以外は、地道に各自が担当する楽器の音出し、ロングトーンなど個人練習を行い、全体で合わせるとい練習を続ける。互いに自分と他者との楽器のハーモニーを考えながらより良い音を目指し、町内や校内でのイベントや行事で演奏を披露する。

16日（日）の定期演奏会では、途中3年生からのお別れの言葉や後輩へのエールが送られた。これまで自分たちが伝統ある本校吹奏楽部を引っ張ってきた思いと中学校での部活動が終わることで、やり切った感や寂しさが一気に湧き上がり、4人の3年生から涙が溢れた。

自分一人の音から隣の仲間の音と一緒に、部員全員が一つになり、とても心地よいハーモニーが響き渡る。コンクールの結果は悔しい思いもあったが、夏休みもなく取り組んだ力は出し切った。吹奏楽部の魅力、それは「音楽」があるからだ。好きな音楽で、みんなで作りだすハーモニー。さらに、聴衆の皆さんからの大きな拍手がこの吹奏楽部のみんなを勇気付け、励まし、力を与えてくれる。

夏祭りや秋の神社祭り等の町内イベント、そして、校内での様々な行事を盛り上げ、彩りを与えてくれる。今後もすてきな音色を是非聞きたい。そんな思いを持ちながら、清中生や先生方みんなが吹奏楽部を応援している。頑張り、吹奏楽部！響け、ハーモニー！

これからも清水中学校吹奏楽部への応援をよろしくお願いします！





(教頭 須藤 正博)

御影中学校

校長 塚原 雄二

性感染症をうつさない、うつらないためには

～十勝の現状と対応策について学ぶ

8月30日(木)に2年生の性教育の授業で、帯広保健所の古舘由貴保健師に来ていただき、性感染症の十勝管内の状況とその予防策について学習しました。当日は帯広保健所から他に3名の保健師さん、清水町からも4名の保健師さんが来校し、授業の後半のそれぞれのグループワークに加わり、生徒の目線で一緒に考えていただきました。

十勝管内の性感染症の割合は特に10代が多く、全国の割合の2倍になっているそうです。授業では性感染症の種類や現状、感染経路、自覚症状、そのままにしておいた場合の身体への影響についての講義がありました。生徒は現状を知り、真剣に保健師の話聞いていました。

また、グループワークでは実際のケースを想定して、感染したと思ったときのとるべき行動についてお互いの意見をグループの中で討議しました。いろいろな行動について意見が出され、これからの性感染症の予防や対策について生徒は中身を深めることができました。

性感染症は不特定多数が感染する可能性と広がりがあり、困ったときはいろいろな機関に相談することが重要であることが分かり、生徒は貴重な性教育の授業を受けることができました。



清水高等学校

校長 平野 道雄

地域と共にある清水高校！

9月16日(日)、今年初開催となった「清水町肉・丼祭り」では、本校書道部の書いた、先の北海道胆振東部地震の被災者への「頑張ろう日本！頑張ろう北海道！」のメッセージがステージに飾られ、来場したたくさんの方々に見てもらいました。

一方、生産技術系列の食品分野のチームで出品した「食



べづらいカレーパン」は、用意していた 100 個が午前中のうちにあっという間に完売し、残念がる声が聞かれました。

同チームでは、三笠市でのパティシエロワイヤルで好成績を得た、2年次の大澤凱さん（屈足出身）、三上茜さん（上美生出身）、長屋綸真さん（帯広出身）の3人による「濃厚クリームハシカプセムラ」がセイコーマートで商品化され絶賛販売中(10/1～21頃まで)です。また、岩見沢市でのパン甲子園では、3年次の鈴木杏理さん、佐藤亜依さん、高倉裕梨さんによる、それぞれの地元である新得や芽室の地域食材を使った「新芽バインミー」が念願のグランプリを初受賞しました。

清水高校には、清水町はもとより、十勝管内外の各地域から生徒が集まり、地域の産業や素材を活かした活動に取り組んで、大きな成果をあげています。



生徒会が発足！

後期が始まった10月2日（火）、2年次生を中心とする新しい生徒会役員認証式を行い、会長に就任した牧野菜奈さん（清水出身）から抱負が語られました。今回の生徒会役員12人の内訳は、清水町出身5名、芽室町出身3名、帯広市出身3名、新得町出身1名です。中学校時代、それぞれの地域や学校文化の中で行事などに取り組んできた生徒たちが、それぞれの経験や学びを持ち寄りながら清水高校を舞台にさらに活躍し、新たな清水高校文化の創造に挑戦してもらうとともに、生徒の一人ひとりがそのことを通してより一層成長してくれることを願っています。



一日体験入学を実施！

10月3日（木）、本校を会場に一日体験授業を行いました。本校に関心を持っている中学3年生とその保護者や引率教員、合わせて約190名（昨年よりも50名ほど増）に参加していただきました。テーマは「見て、体感して分かる総合学科」。清水高校生が系列の学習を紹介したり、先生役で授業を進めたりして、直接後輩たちに堂々と清水高校のいいところを語る姿が印象的でした。今回参加した中学生が、こうした先輩方の姿にあこがれて清水高校に入学してくれることを期待しています。



ばら組さんが考えた ゆうえんち！！

例年“ばら組”のお楽しみ会を実施しています。昨年、一昨年と「お化け屋敷」をつくりましたが、今年はみんなで話し合って「ゆうえんち」をつくることになりました。

どんな遊具をつくると小さな子たちでも楽しんでくれるのか、どんなものを用意したらよいかといろいろなアイデアを出し合いながら、最終的に「ポールプール」「めいろ」「おえかき」「おうち」「しんぶんプール」をつくることになりました。

遊戯場いっぱいにつられた各コーナーでは、小さな子も年長さん自身もとても楽しく遊んだり、交流することができました。最後に「しんぶんプール」に年長さんが作ったお魚が隠されました。たんぼぼからお魚探しを行い、見つけた人に手づくりメダルがプレゼントされました。みんな大満足で大事そうに各教室に持ち帰りました。

年長さんはそれから大急ぎで片づけ開始です。発表会に向けた準備が進んでいるので練習に支障がないように完全撤去！お家の中に描いたいろいろな絵やお絵かきコーナーのお友達の絵に、『残しておきたいな〜』と本音が漏れましたが、潔く片づけを終了。

みんなに喜んでもらった満足感で笑顔かがやく年長さんでした。

収穫の秋・・・野菜スタンプで制作！

栽培・飼育活動として大根、芋、人参、枝豆など清水高校の生徒さんにお手伝いをいただきながら育ててきました。野菜の草取りや水やりなど、年齢に応じた活動をすることで、苦手な野菜にも挑戦して、食べられるようになった子もいました。

栽培で作った野菜の小さなものや購入したいろいろな野菜を使って『野菜



スタンプ』制作活動を行いました。年少さんは、ばら組（年長）さんの教室で先生の説明を一緒に聞いた後、年長さんが制作する様子を見せてもらいました。いも、人参、大根、オクラ、玉ねぎ、ピーマン、レンコン、レモンなどを、思い思いの色に押し当て、スタンプとして画用紙に押しすと「すごいね！」と目を輝かせていた年少さんです。



教育委員会

平成30年度 第12回“しみず「教育の四季」子どもフォーラム”を下記の通り開催します。参加いただきますようご案内申し上げます。

1 目的

清水町の児童・生徒の意見交流を通して、しみず「教育の四季」の趣旨の浸透を図り、未来を担う、町の宝である子どもたちの健全育成を目指した教育実践を町民総ぐるみで取り組むための方向性を探る。

2 主催

しみず「教育の四季」推進協議会・清水町教育委員会

3 日時

平成30年11月27日（火） 15:30～17:10

4 会場

清水町文化センター 1F 大集会室

5 参加者

- (1) 各小・中学校児童・生徒代表
- (2) 清水高等学校生徒代表
- (3) しみず「教育の四季」推進協議会役員
- (4) 町民・保護者

6 日程及び内容

15:30		17:10		
受付	開会	各学校の取組発表	意見交流	閉会
		各小・中・高の児童会及び生徒会の“しみず「教育の四季」”の取組内容とその成果及び課題等について発表	小・中・高の児童生徒と参加者の交流を図る。 *テーマ 「スマホ・ゲームについて考える」	

7 お問い合わせ・申し込み

清水町教育委員会（担当：教育指導幹 清水 彦一）

TEL 0156-62-5138 FAX 0156-62-7100

Eメール：sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、TV消し、

夕べの読書

地域は、読み聞かせ

ボランティア